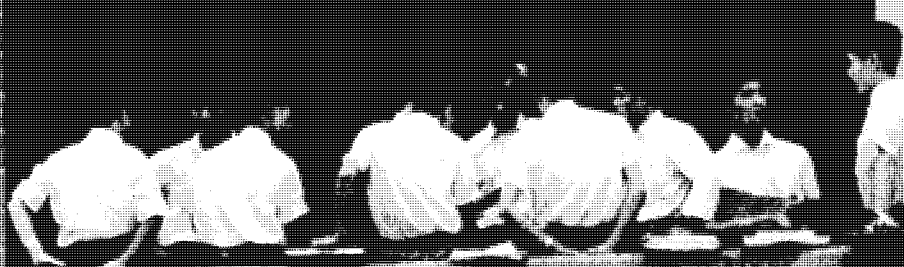


工学部

桜

工



1964-36

日本大学工科校友会

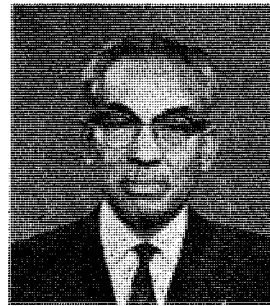
本学総長永田菊四郎先生は、このほど理工学部2部新入生の歓迎会に出席して講演をおこなった。先生自身苦学力行の人であるだけに、その話は働きながら学ぼうとする、若い勤労学生に大きな感銘を与えた。以下はその抄録である。

### 学問とはなにか

人はいう。「人間をつくるものは学問である」と。私も今年の入学式に「学問は天地人を支配する大原理であり、最も崇高であり深遠である。すなわち学問は文化の源泉であり、人間形成のもとである」といった。たしかに学問は人間形成のもとである。学問については、いろいろな定義がある。西洋流の定義にしたがえば、学問は正確な知識の系統的一体だという。東洋の聖賢は「学問とはおのれを治め、人を治めることだ」といっている。近江聖人といわれた中江藤樹は「心のけがれを清め、身のおこないをよくすること、これが学問の本体だ」といっている。

私はこの東洋的な考え方が正しいと思う。もう

# 勤 労



永田総長

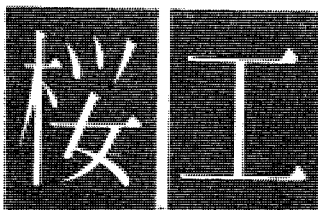
少しいうならば学問とは、知情意を総合的に高めることによって、人間を育成するものであるといっておかろうと思う。

その学問をする方法はいろいろある。専門的に学問だけに従う人もおれば、2部の学生諸君のように、働きながら勉強する、勉強しかつ働くという人もある。学問本来の意味からいえば、この働きながら学ぼうがいい。学問はただ知識を詰め

■ 勤労人をつくる	永田菊四郎総長講演から	4
■ 2人の先輩にきく／むかしといま		
	深かった師弟間の交流	小野俊雄 9
	事務化してきた勉学	柳内善治郎 11
■ しょぼしょぼするな／瀬古新助氏の生活と意見		13
■ 学生の青田刈り／その是非をきく		16
■ ヨーロッパ薬界の印象(下)		木村雄四郎 23
■ 佐藤の八ちゃん／ボートの恋人のはなし		杉村俊一 28
■ IBMと東京オリンピック		31
■ 工科校友会総会開く		33
■ 支部だより／北海道支部総会 (33) 鳥取支部総会 (33) 静岡支部総会 (33) 消防庁支部総会 (34)		
■ 会合だより／高土10回生同窓会 (34) 学土13回生同窓会 (35) 双葉会 (35)		
■ 学友短信／住所変更 (36)		
■ 自治会関係の夏季行事きまる (36)		

### ■ グラビア

学生は青いうちに刈り取られる／さあ夏季休暇だ／レジャー作戦密なるを要す／アルバイト



日本大学  
工科校友会誌

1964  
VoL. 9  
No. 36

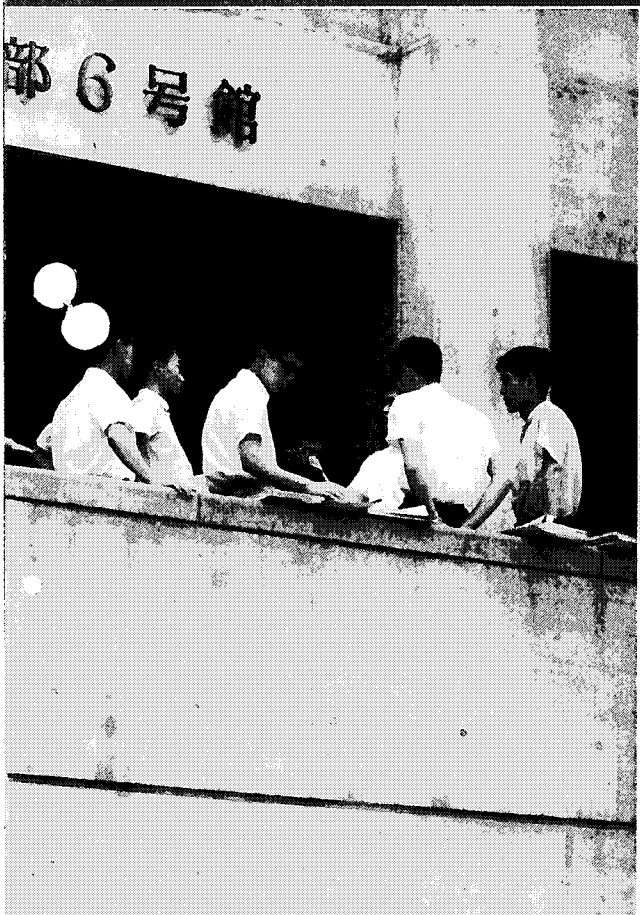
### 会誌委員

菅原 要／下青木秀吉／篠本勝美／笠井芳夫／安藤三郎／大内順／青木顕一郎／篠原 博／高橋信夫／大塚喜作／大内 蕃／清水 潤／山内 盛

# レジジャー作戦 密なるを要す



時間アマツタゼニ足サズ  
ココ一巻フンキシテ  
親ノスネヲバカシランカ



あっちでもこっちでも  
楽しみの打合せがいっぱい